



湧き水があんなに透明だとは思わなくて、きれいでびっくりしました。また、安曇川にはたくさんの魚がいて、見ていておもしろかったです。それと、アマゴの生活が気になりました。それは、アマゴの卵を見つけて「どうやって生まれていくんだろう」と思ったからです。

わき水は、安曇川と同じくらいつめたいということが分かりました。また、なぜ山の中の土はふかふかで、比良や小松とはどう違うのかが気になりました。それに、なぜアマゴは冷たくてきれいな所にだけいるんだろう。

川には、タニシなどがたくさんいました。川には、内湖にいない生き物がたくさんいました。それに、わき水は水道の水より冷たいことが分かりました。また、アマゴに串を刺す時勇気を出しました。アマゴは焼くと、ものすごくおいしいことが分かりました。虫が葉を食べて糞をして、土にしていることやカモシカの角が折れることもあることも知りしました。

やまのこ学習で考えたことは「安曇川には、ヘビトンボ以外にどんな生き物がいるのかな」と思いました。ほかに「森林にもどんな生き物がいるか」と思いました。それと「わき水はどれだけの冷たさなのか」とか「植物もたくさんの種類が生えているんだろうなあ」など、いろいろ考えました。散策にいくと腐葉土を踏むとふわふわで、なぜこんなやわらかいんだろうと思いました。

児童の感想 (抜粋)

学校で勉強をしていないことがたくさんあって、とても勉強になりました。葛川で散策中、川のほうへ行ったら小さな魚や虫が、石の下にたくさんいて「虫も住みやすそうにしているな」と思いました。また、水が流れているのを見て「とてもきれいだな」と思いました。その水の流れを見て「木がとても大切だな」と思いました。

私は友達と散策をしていると、ふかふかな土があったので、触ってみるとすごくふかふかで、粘土みたいな土でした。本当に森林はすごいなと思えました。私は友達と散策をして、いろいろな所へいきました。始めは安曇川へ行きました。安曇川の石はすごく大きかったこと、水がすごく冷たかったこと、生き物がたくさんいたことを見つけました。生き物は、かにや魚がたくさんいました。また、死んでしまっている亀もいました。私は「すごくかわいそうだ」と思いました。大きな石や岩は、100cmよりも大きい岩がありました。私は、最初は「ただの岩じゃないの」と思ったのですが、前の学習を思い出し、「もしかしたら、魚の住みかじゃないのか?」と思いました。友だちと気になったものは拾って「触った感じはどう?」って聞き合うことができたので、いろいろなことを考えられました。

私は、やまのこ学習を通して思ったことは「森林を伐採してくださる方がいないと生きていきにくい、もしくは生きていけないんじゃないか」と思いました。理由は、森林がないと災害が起きやすいからです。伐採してくださる方がいなくなると、森林は元気が無くなり、水をたくわえられなくなって、災害がどんどん多くなることを知りました。他にも「間伐をしてくださる方がいなくなると、土砂災害や洪水が起こってしまうと私たちも困ってしまうし、食べ物もなくなってしまう」と思いました。

